

沖縄地方の天候

2018年11月と秋（9月～11月）

平成30年12月3日 沖縄气象台

【 11月 】	
天候経過（月のまとめ）	1
天候経過（旬別）	2
大気の流れ（北半球の天気図の概要）	3
日々の天気図（午前9時）・気象概況	4
地上気象 気象経過図	
那覇・名護・久米島・南大東（南大東島）	6
宮古島・石垣島・西表島・与那国島	7
アメダス（月平均気温・月降水量・月間日照時間）	
分布図	8
極値・順位値更新表（月）・生物季節観測表	9
【 秋 】	
秋の天候	10
秋の大気の流れ（北半球の天気図の概要）	11
沖縄地方の秋（9月～11月）	
の平均気温と降水量の経年変化	12

※本報告は12月3日時点の資料で作成したものです

本件担当：沖縄气象台 地球環境・海洋課
お問い合わせ先：098-918-4012

天 候 経 過 (月のまとめ)

【11月】

高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、前線や気圧の谷、湿った空気の影響で3日は沖縄本島地方で、15日から19日にかけては沖縄本島地方と先島諸島では大雨となった所があった。平均気温は、全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を上回り、地域平均平年差は0.8℃と高かった。降水量の地域平均平年比は110%と平年並だったが、南大東島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島では平年を下回った。日照時間は、全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を上回り、地域平均平年比は124%と多かった。

平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	23.1	+1.0	+	160.5	146	+	155.9	127	+
名 護	22.2	+0.8	+	135.0	110	0	148.7	122	+
久米島	23.0	+0.9	+	277.0	226	++	119.8	107	0
南大東島	23.1	+0.3	0	70.0	56	-	161.3	120	+
宮古島	23.4	+0.7	+	72.5	49	-	152.9	137	++
石垣島	24.0	+0.8	+	84.5	54	-	153.0	132	++
西表島	23.6	+0.9	+	50.5	23	--	148.3	159	++
与那国島	23.3)	+0.5	0	182.5)	73	0	101.0)	118	+
沖縄地方		+0.8	+		110	0		124	+

- (注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。
 ++: かなり高い(かなり多い)、+: 高い(多い)、0: 平年並、
 -: 低い(少ない)、--: かなり低い(かなり少ない)
2. 「降水量」欄の — は無降水を示す。
3. 沖縄地方の地域平均平年差(比)とは、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点の平年差(比)の平均値を示す。
4. “)”付きの値は準正常値(欠測を含むが許容する資料数を満たす)を意味する。
5. “)”付きの値は資料不足値(欠測を含み許容する資料数を満たさない)を意味する。
6. “X”は欠測を意味する。
7. 表中のデータは気象官署及び特別地域気象観測所における値である。
8. 平年値の統計期間は1981～2010年である。

天 候 経 過 (旬別)

【11月上旬】

沖縄地方は、期間の前半は前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、3日は沖縄本島地方で大雨となり、荒れた天気となった所があった。期間の後半は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

沖縄地方の平均気温は高く、降水量と日照時間は平年並だった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	23.7	+0.5	+	70.5	183	+	48.5	103	0
名 護	22.9	+0.4	0	56.0	129	+	48.6	103	0
久米島	23.8	+0.7	+	97.5	228	+	32.2	70	-
南大東島	23.6	-0.2	0	60.0	176	+	40.6	79	-
宮古島	24.3	+0.7	+	46.0	85	0	44.2	99	0
石垣島	25.1	+0.9	+	27.5	47	0	56.8	122	+
西表島	24.7	+1.1	+	19.5	23	0	56.5	147	+
与那国島	24.3	X	X	107.5	130	0	29.0	X	X
沖縄地方		+0.7	+		135	0		99	0

【11月中旬】

沖縄本島地方と先島諸島は前線や気圧の谷、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、15日から19日は沖縄本島地方と先島諸島では大雨となった所があり、16日は安次嶺で日最大1時間降水量50.0mmを観測し、11月としての極値を更新した。大東島地方は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

沖縄地方の平均気温は高く、降水量は多く、日照時間は多かった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	23.2	+1.1	+	89.0	250	+	48.8	121	+
名 護	22.3	+0.9	+	76.0	217	+	48.9	125	+
久米島	22.9	+0.9	+	173.5	475	++	41.5	117	+
南大東島	22.7	0.0	0	0.0	0	--	69.4	160	++
宮古島	23.2	+0.5	0	26.5	73	0	51.5	146	+
石垣島	23.7	+0.5	0	56.5	137	+	52.2	143	+
西表島	23.3	+0.6	+	26.5	44	-	50.4	169	+
与那国島	23.5	+0.7	+	26.5	31	-	39.9	148	+
沖縄地方		+0.7	+		193	+		135	+

【11月下旬】

沖縄地方は高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあった。

沖縄地方の平均気温は高く、降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多かった。

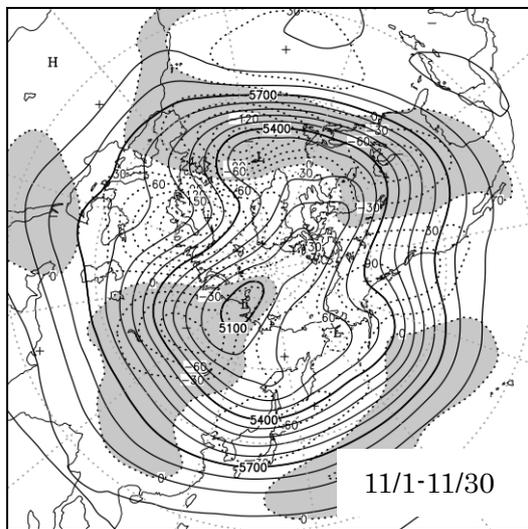
	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	22.5	+1.4	+	1.0	3	--	58.6	165	++
名 護	21.6	+1.1	+	3.0	7	--	51.2	144	++
久米島	22.2	+1.1	+	6.0	14	-	46.1	150	++
南大東島	22.9	+1.0	+	10.0	20	-	51.3	128	+
宮古島	22.8	+1.0	+	0.0	0	--	57.2	177	++
石垣島	23.3	+1.1	+	0.5	1	--	44.0	133	+
西表島	22.8	+0.9	+	4.5	6	--	41.4	162	+
与那国島	22.4	+0.5	+	48.5	60	0	32.1	155	++
沖縄地方		+1.0	+		16	--		156	++

表の(注)は、前頁と同様

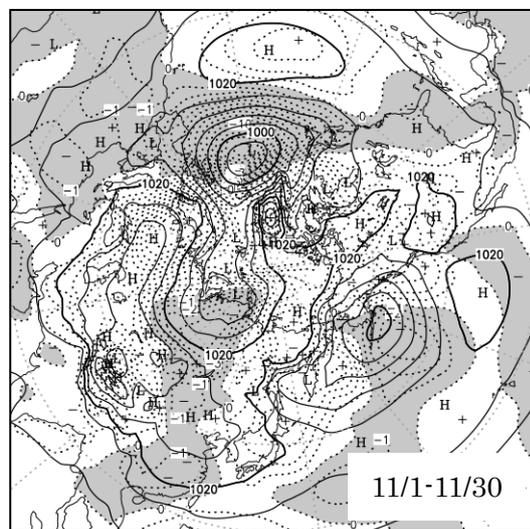
大気の流れ（北半球の天気図の概要）

2018年11月

500hPa面の平均高度（左図）は、日本付近は平年より高い領域が広がった。平均海面気圧（右図）は、華中・華南から東シナ海にかけては平年より気圧が低く、大陸の高気圧が発達しなかった。また、フィリピン付近では平年に比べ気圧が高く高気圧が強かった。このため、沖縄地方は平年に比べて北からの冷たい空気の影響を受けにくく、南からの暖かい空気が流れ込みやすかった。



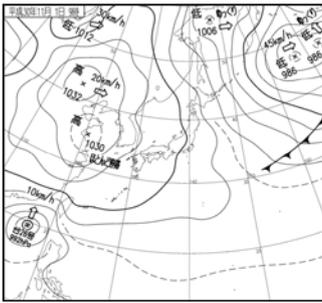
左図 北半球の500hPa面の平均高度
等値線の間隔は実況（実線）が60m、
平年差（破線）が30mである。
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。



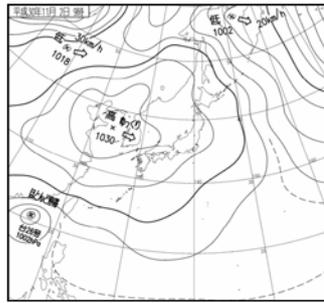
右図 北半球の平均海面気圧
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、
平年差（破線）が1hPaである。
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

日々の天気図（午前9時）・気象概況

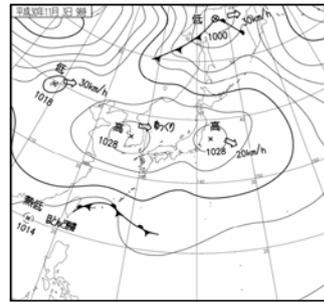
2018年11月1日～11月16日



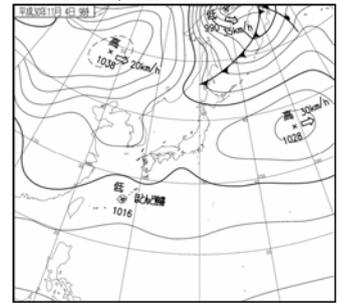
2018年11月1日
高気圧のへりにあたる。



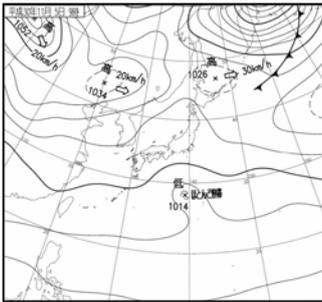
11月2日
湿った空気の影響を受ける。



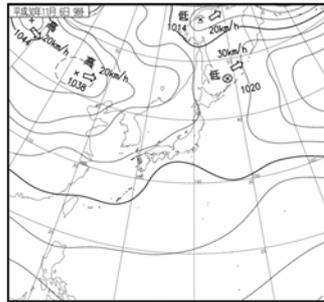
11月3日
前線の影響を受ける。



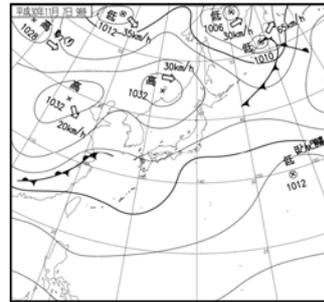
11月4日
沖縄本島地方と大東島地方は低気圧
や前線の影響を受ける。先島諸島は
高気圧に覆われる。



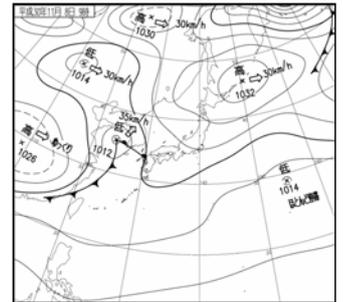
11月5日
沖縄本島地方と大東島地方は気圧
の谷の影響を受ける。先島諸島は
高気圧に覆われる。



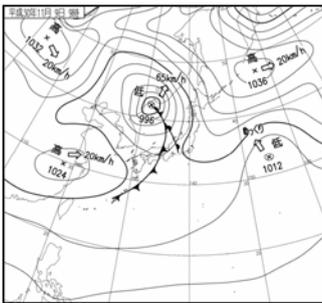
11月6日
沖縄本島地方と先島諸島は高気圧
に覆われる。大東島地方は湿った
空気の影響を受ける。



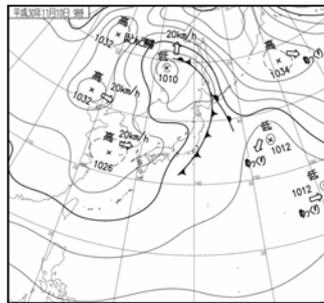
11月7日
高気圧に覆われる。



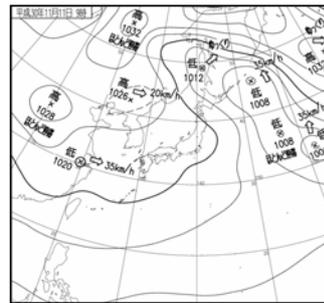
11月8日
高気圧に覆われる。



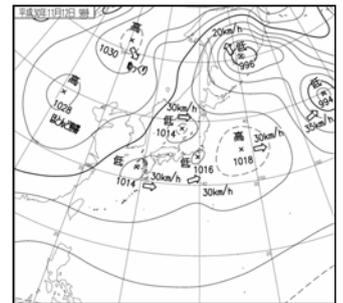
11月9日
高気圧に覆われる。



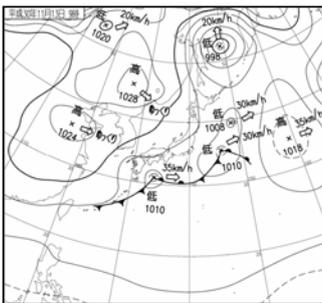
11月10日
高気圧のへりにあたる。



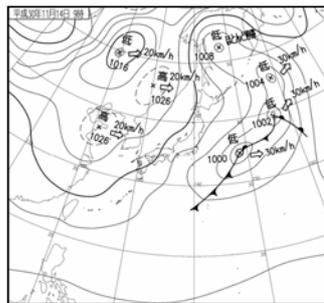
11月11日
沖縄本島地方と大東島地方は高気
圧に覆われる。先島諸島は湿った
空気の影響を受ける。



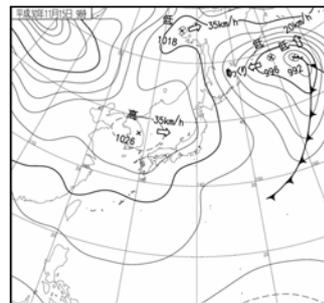
11月12日
気圧の谷や湿った空気の影響を受け
る。



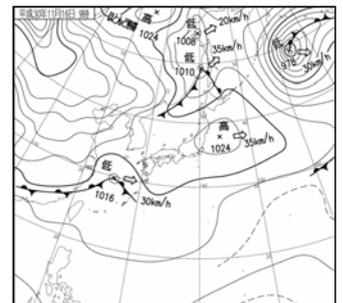
11月13日
前線や湿った空気の影響を受け
る。



11月14日
高気圧に覆われる。



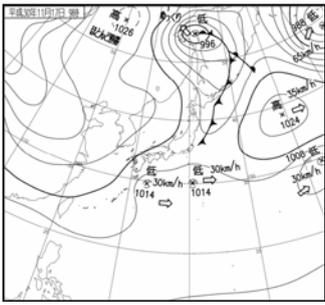
11月15日
沖縄本島地方は、湿った空気の影響
を受ける。大東島地方と先島諸
島は高気圧に覆われる。



11月16日
沖縄本島地方は、前線や湿った空気
の影響を受ける。大東島地方と先島
諸島は高気圧に覆われる。

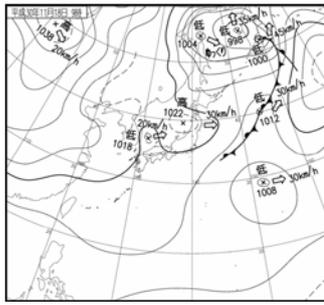
日々の天気図（午前9時）・気象概況

2018年11月17日～11月30日



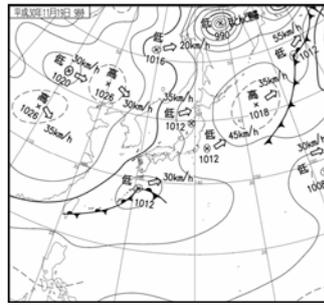
11月17日

沖縄本島地方と先島諸島は湿った空気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



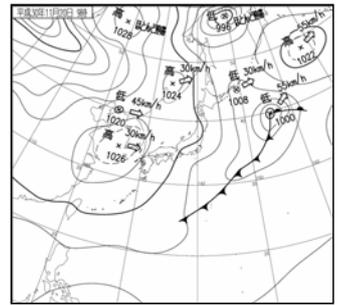
11月18日

沖縄本島地方と大東島地方は高気圧に覆われる。先島諸島では湿った空気の影響を受ける。



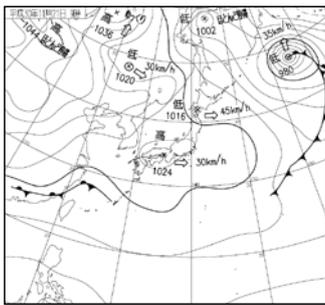
11月19日

前線や湿った空気の影響を受ける。



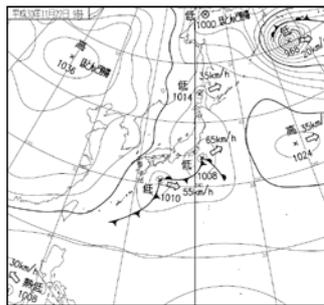
11月20日

高気圧に覆われる。



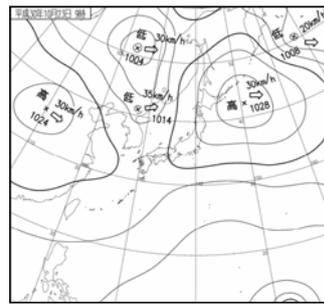
11月21日

高気圧に覆われる。



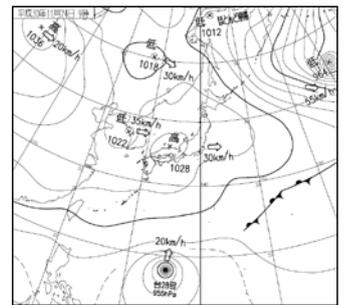
11月22日

前線や気圧の谷の影響を受ける。



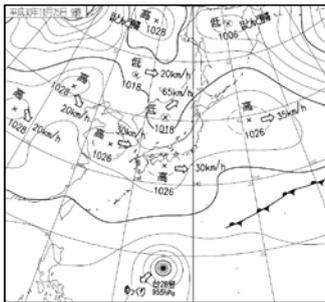
11月23日

寒気や気圧の谷の影響を受ける。



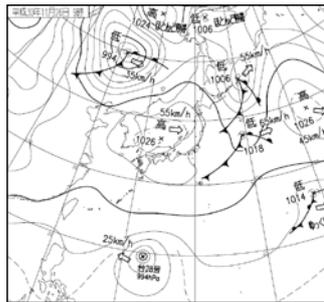
11月24日

沖縄本島地方は高気圧のへりにあたる。大東島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。



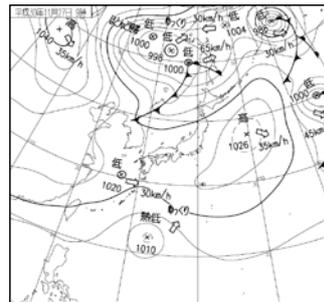
11月25日

沖縄本島地方と大東島地方、宮古島地方は高気圧に覆われる。八重山地方は気圧の谷の影響を受ける。



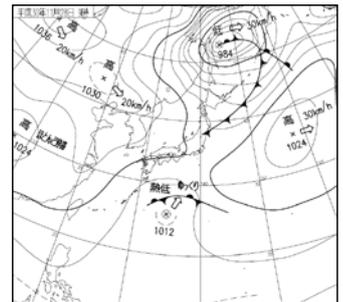
11月26日

気圧の谷や湿った空気の影響を受ける。



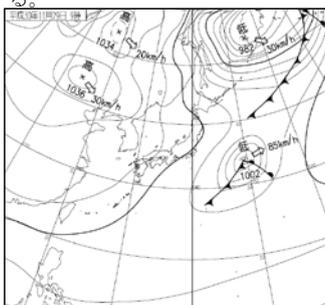
11月27日

沖縄本島地方と宮古島地方は高気圧に覆われる。大東島地方と八重山地方は気圧の谷や湿った空気の影響を受ける。



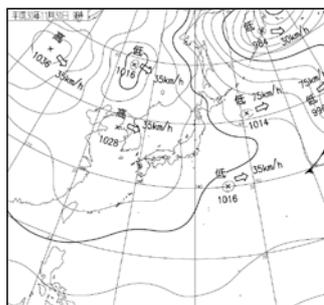
11月28日

気圧の谷や湿った空気の影響を受ける。



11月29日

高気圧に覆われる。

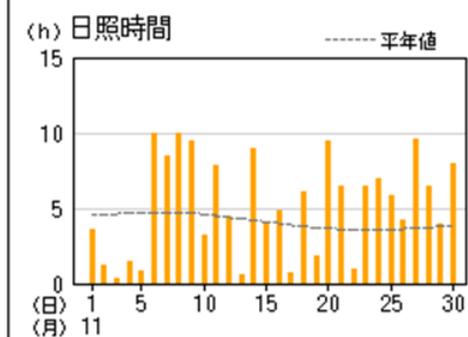
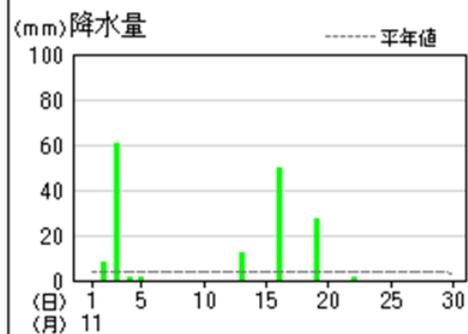
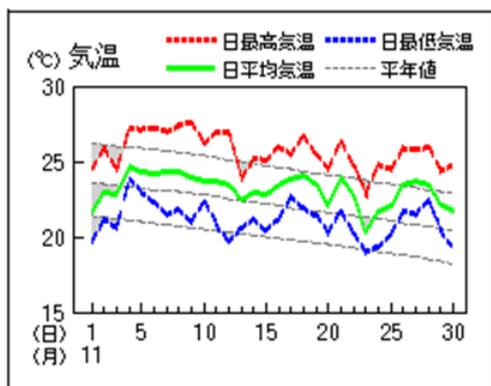


11月30日

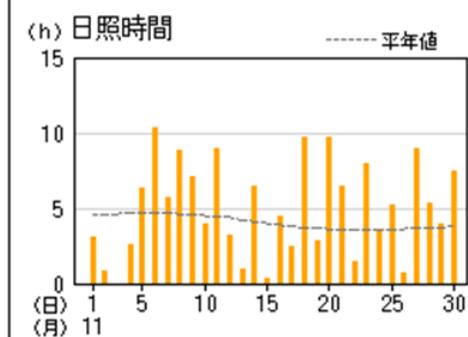
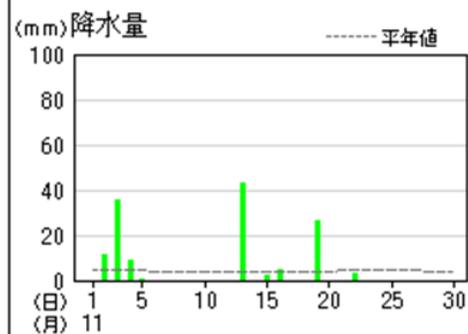
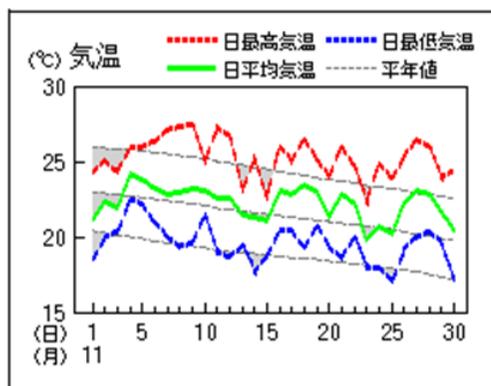
高気圧に覆われる。

地上気象 気象経過図：2018年11月01日-2018年11月30日

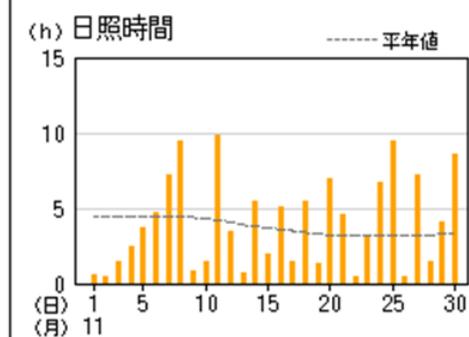
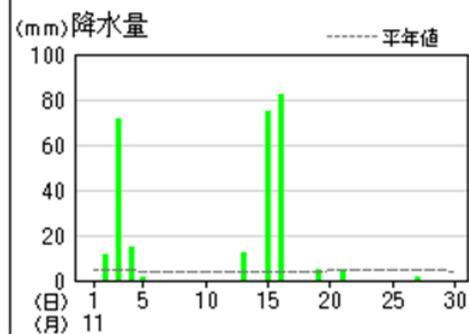
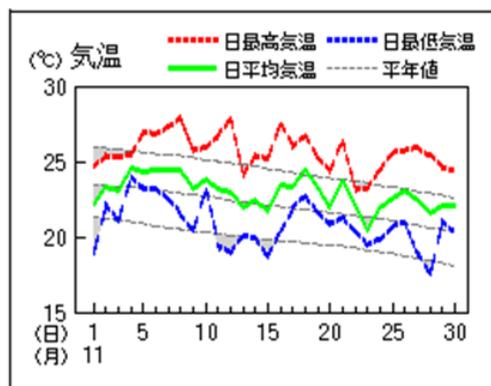
那覇



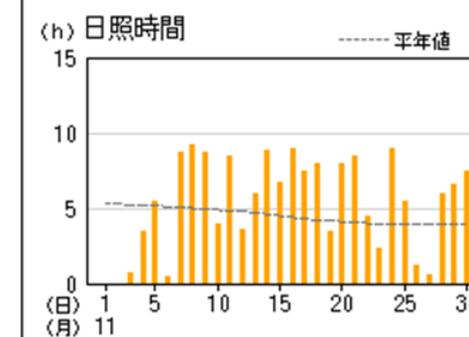
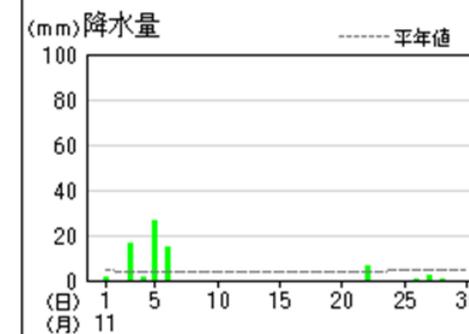
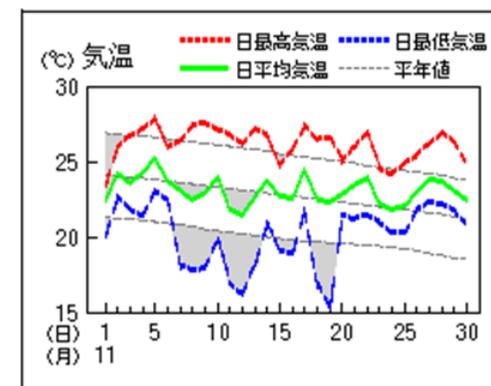
名護



久米島

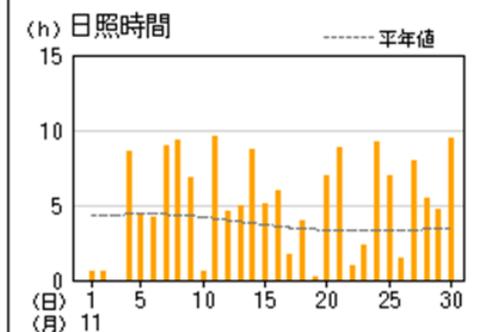
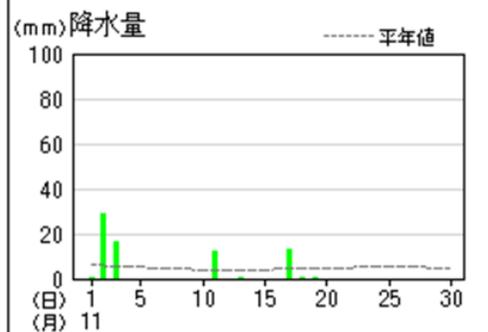
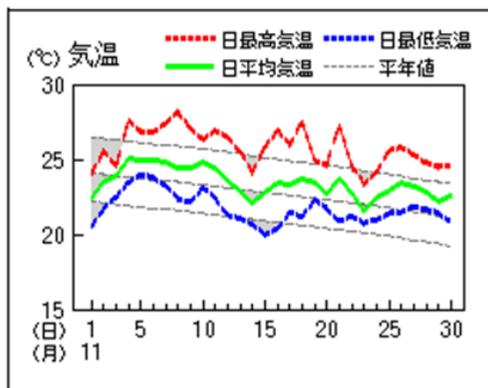


南大東 (南大東島)

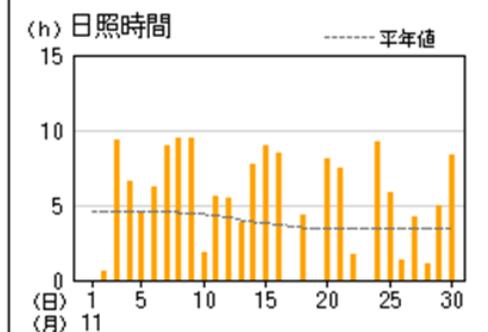
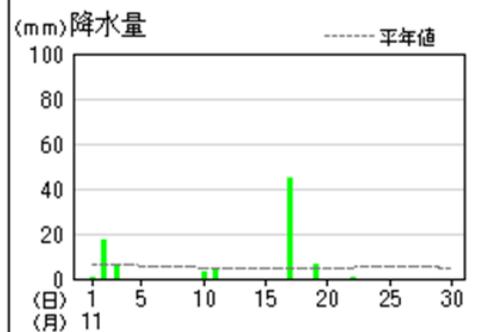
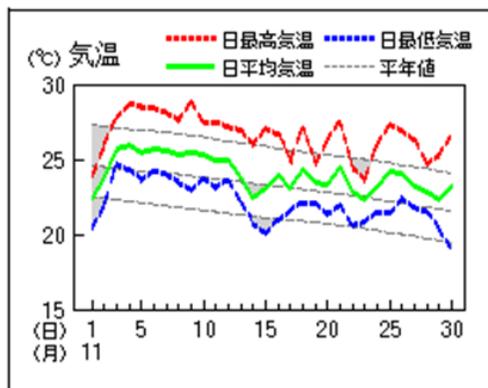


地上気象 気象経過図：2018年11月01日-2018年11月30日

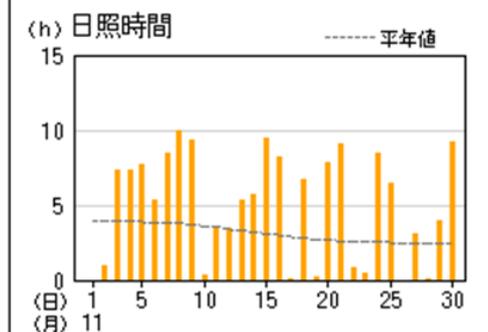
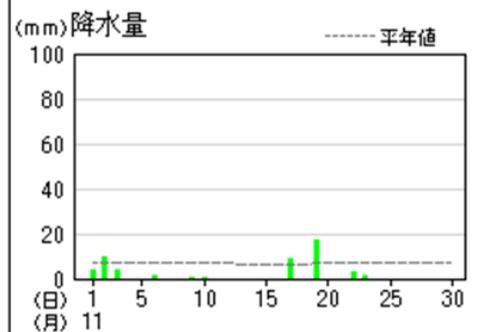
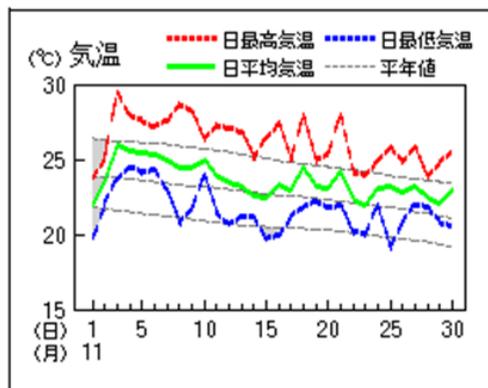
宮古島



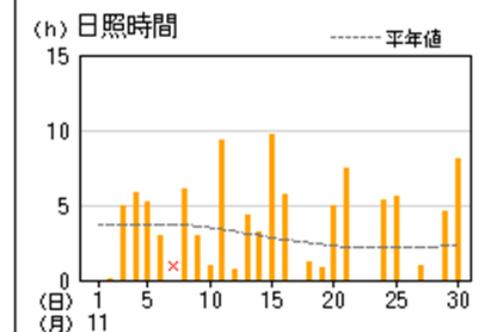
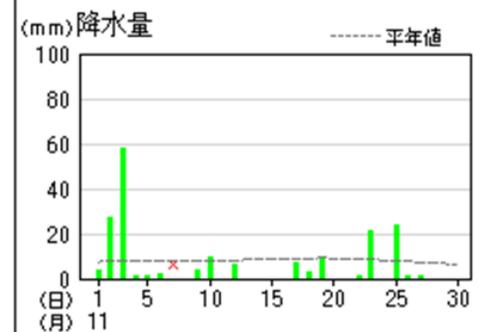
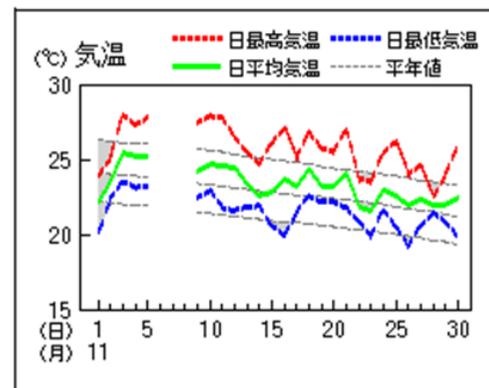
石垣島



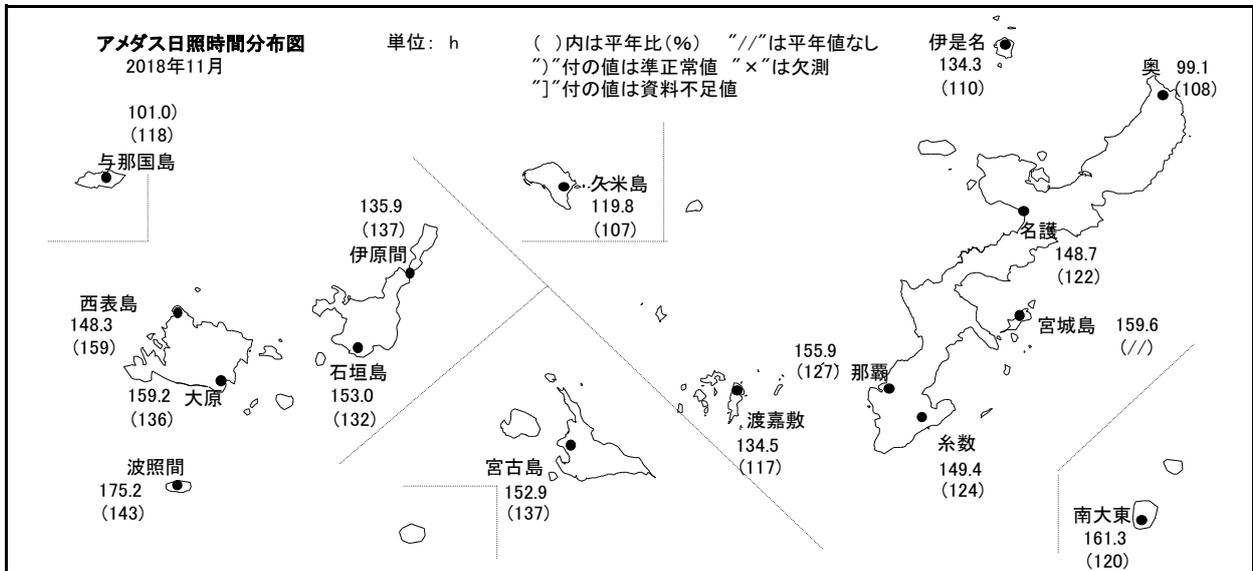
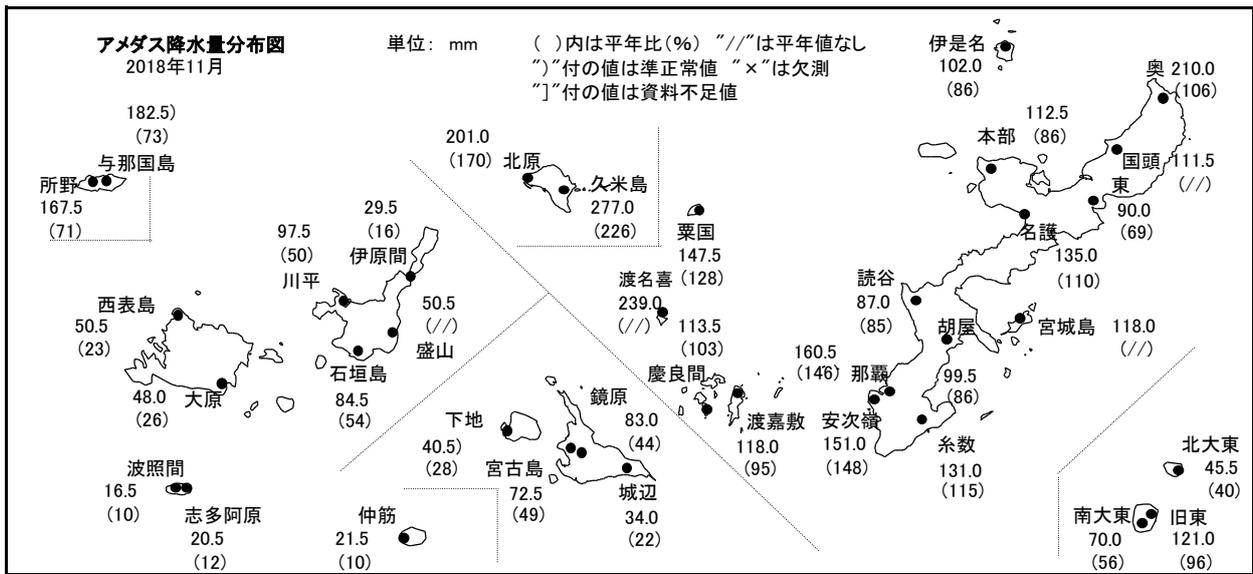
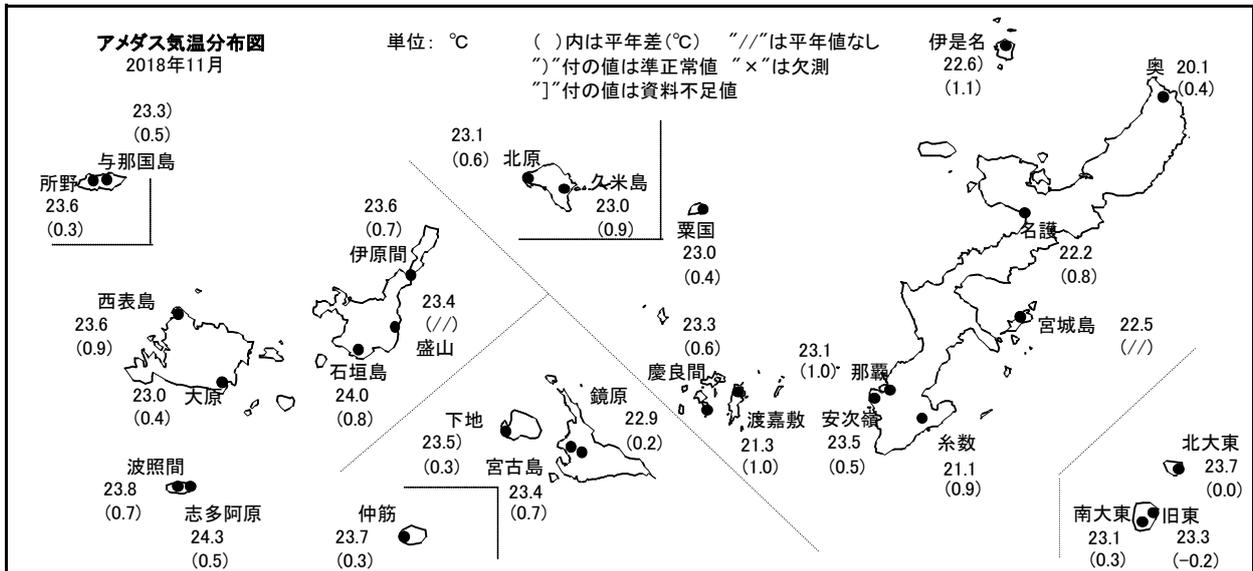
西表島



与那国島



アメダス(月平均気温・月降水量・月間日照時間)分布図



・ 統計期間が短いため、平年値が無い地点があります。

極値・順位値更新表（月）

地上気象観測所

2018年11月

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値(観測日・月)	
西表島	月降水量の少ない方から（mm）	50.5	2018年11月	2	10.5	2004年11月
西表島	月間日照時間の多い方から（時間）	148.3	2018年11月	2	152.2	1997年11月

注1：日の統計値は1位更新、月の統計値は3位更新まで記載しています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

アメダス観測所

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値(観測日・月)	
栗国	日最大風速・風向（m/s）	北13.0	2018年11月22日	1	北東 13.0	2007年11月27日
安次嶺	日最大1時間降水量（mm）	50.0	2018年11月16日	1	49.0	2011年11月9日
奥	日最大10分間降水量（mm）	14.5	2018年11月19日	1	13.5	2008年11月8日
伊是名	日最大瞬間風速・風向（m/s）	北東19.4	2018年11月4日	1	北東 19.4	2008年11月11日
城辺	月降水量の少ない方から（mm）	34.0	2018年11月	1	36	2001年11月
仲筋	月降水量の少ない方から（mm）	21.5	2018年11月	1	53	2005年11月
宮城島	月間日照時間の多い方から（時間）	159.6	2018年11月	1	158.9	2015年11月

注1：日及び月の統計値の1位更新を記載していますが、統計期間10年未満の地点は除いています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

注3：*印は下位と同値（タイ記録）を意味します。

生物季節観測表

2018年11月

観測場所	種別（代替種目）	現象	本年発現	平年値	昨年発現	発現 平年差	最早日	最晩日
			月 日	月 日	月 日			
（1）植物								
宮古島	ススキ	開花	11月1日	10月23日	10月31日	+9	10月4日	11月6日
（2）動物								
なし								

注：平年差の“-”は発現が平年に比べて早く、“+”は発現が平年に比べて遅いことを示します。

秋の天候

2018年9月～11月

天候経過

沖縄地方の秋の地域平均平年差は0.1℃と平年並だったが、10月は大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響を受ける日があり、地域平均平年差は-1.1℃とかなり低かった。10月に地域平均平年差が-1.0℃以下となったのは、1986年（平年差-1.0℃）以来32年ぶりの低さとなった。降水量の地域平均平年比は126%と多かったが、南大東島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島では平年を下回った。日照時間の地域平均平年比は103%で平年並だった。

平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

【2018年9月～11月】

	気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	25.1	+0.1	0	870.0	166	++	482.3	100	0
名護	24.6	+0.1	0	750.0	152	++	463.9	95	0
久米島	25.0	+0.2	0	908.5	190	++	471.4	98	0
南大東島	25.5	+0.2	0	370.0	87	0	541.3	99	0
宮古島	25.2	0.0	0	527.5	99	0	482.3	107	+
石垣島	25.8	+0.1	0	595.5	96	0	513.6	110	+
西表島	25.2	+0.2	0	565.5	81	0	474.2	108	+
与那国島	25.2	0.0	0	595.5	77	-	410.5	101	0
沖縄地方		+0.1	0		126	+		103	0

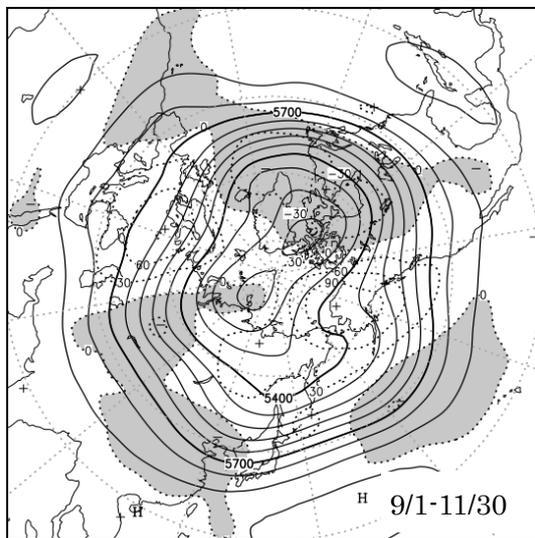
- (注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。
 ++: かなり高い(多い)、+: 高い(多い)、0: 平年並、
 -: 低い(少ない)、--: かなり低い(少ない)
2. 「降水量」欄の—は無降水を示す。
3. 沖縄地方の平年差(比)とは、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点の平年差(比)の平均値を示す。
4. “)”付きの値は準完全値(欠測を含むが許容する資料数を満たす)を意味する。
5. “)”付きの値は資料不足値(欠測を含み許容する資料数を満たさない)を意味する。
6. “X”は欠測を意味する。
7. 表中のデータは気象官署(气象台、特別地域気象観測所)における値である。

秋の大気の流れ（北半球の天気図の概要）

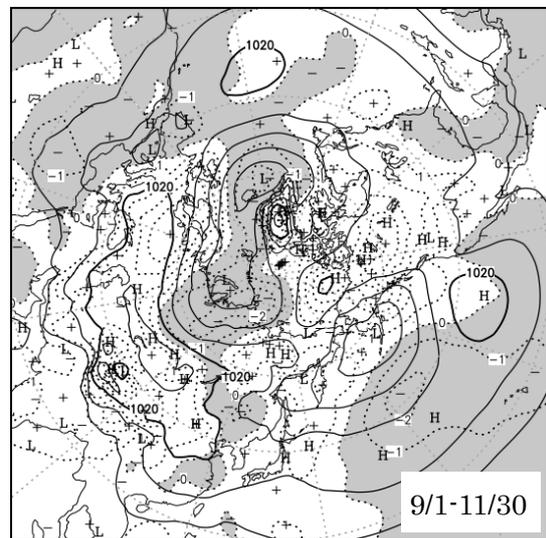
2018年9月～11月

500hPa面の平均高度（左図）は、本州付近は平年より高く、北・東日本を中心に暖かい空気に覆われやすかった。沖縄付近は平年より低かったが、平年からの隔たりが小さかった。

平均海面気圧（右図）は、日本付近は平年より高く、日本の南から南東海上で太平洋高気圧が強かった。太平洋高気圧の縁に沿って、台風や湿った空気が沖縄地方に流れ込みやすかった。



左図 北半球の500hPa面の平均高度
等値線の間隔は実況（実線）が60m、
平年差（破線）が30mである。
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。



右図 北半球の平均海面気圧
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、
平年差（破線）が1hPaである。
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

沖縄地方の秋（9月～11月）の平均気温と降水量の経年変化

沖縄地方の2018年秋（2018年9月～11月）の平均気温の地域平均平年差は+0.12で、平年並の気温であった。1897年の統計開始以降の長期変化傾向（赤色の実線）は、100年間に1.40の割合で上昇している（図1）。

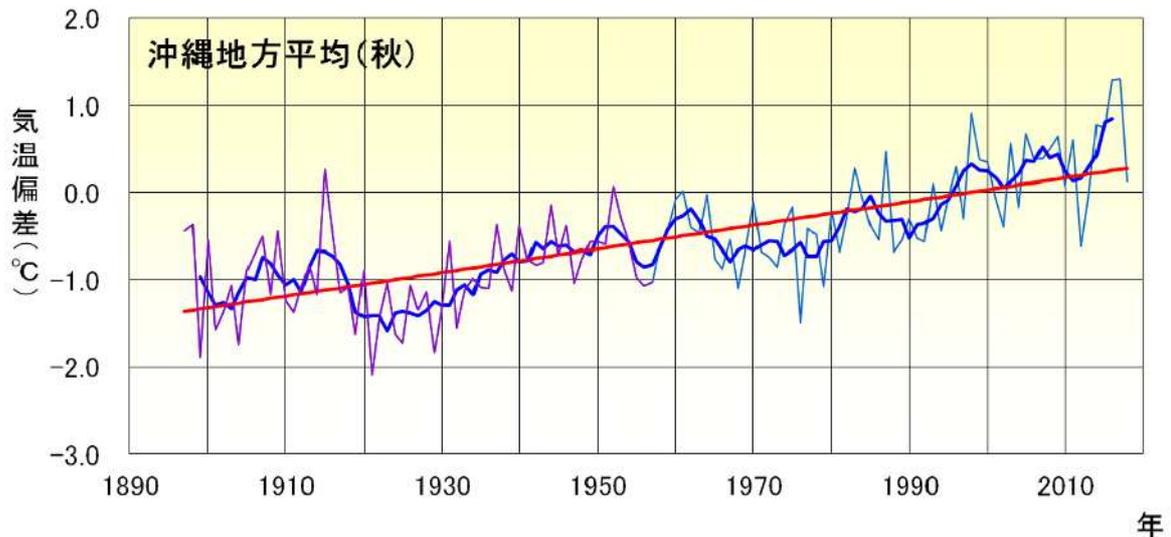


図1 沖縄地方の秋（9月～11月）の平均気温の地域平均平年差の経年変化
[1897～2018年の122年間]

横軸は西暦 [年] 縦軸は沖縄地方の平均気温の地域平均平年差 [] を示す。
水色の折れ線グラフは5地点のデータが揃っている期間、紫色の折れ線グラフは5地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の5年移動平均値、赤色の実線は各年の統計値の長期変化傾向。
那覇の1927年4月以前は、移転の影響を補正したデータを用いている。
1923年は那覇観測値欠測。

沖縄地方の2018年秋(2018年9月~11月)の降水量の地域平均平年差は+114.7mmであった。長期変化傾向は、平均気温とは異なり明確な特徴は見られない(図2)。

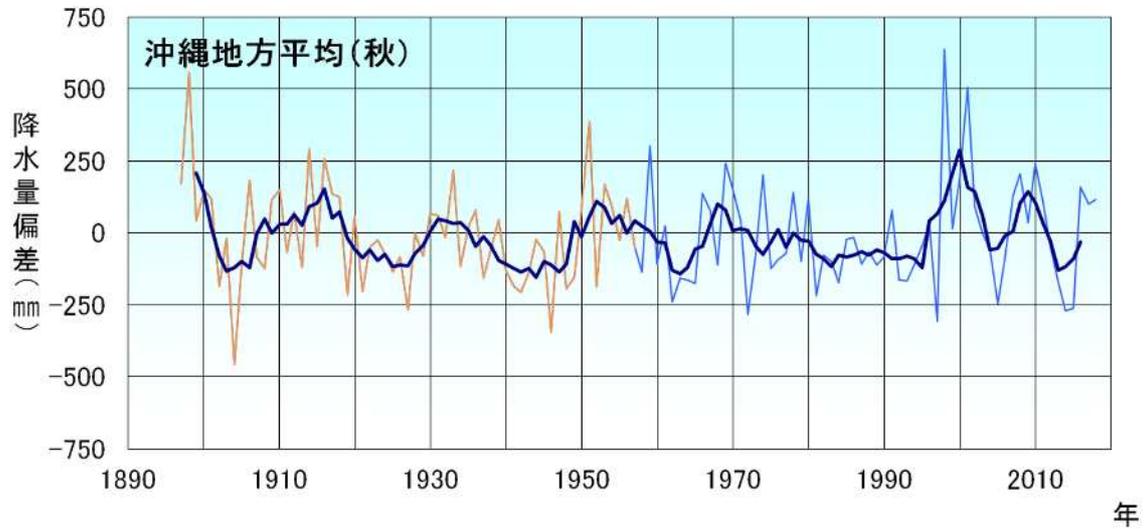


図2 沖縄地方の秋(9月~11月)の降水量の地域平均平年差の経年変化

[1897年~2018年の122年間]

横軸は西暦[年]、縦軸は沖縄地方の降水量の地域平均平年差[mm]を示す。

水色の折れ線グラフは5地点のデータが揃っている期間、橙色の折れ線グラフは5地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の5年移動平均値。

1923年は那覇観測値欠測。

【注】

- この資料においては、沖縄地方の平均気温と降水量の地域平均平年差は、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点より算出している。また、上記5地点のうち2地点以上で観測値が存在する期間について算出しているため、統計開始は1897年からとなる。沖縄地方の平均気温の地域平均平年差は、長期的なトレンドの評価のため、小数第2位まで求めている。